

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	都会と田舎を繋ぐ！企業連携心のデトックス事業
事業主体 (連絡先)	売木村 電話 0260-28-2000
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,212,576 円

事業内容

都会の企業に勤める若者を村に招聘し、村の連携プロジェクトを立ち上げた。都会の需要(ストレス社会の心のデトックス)と村の需要(空き家、耕作放棄地等の改善)を満たし、両方にメリット(Win×Winの関係)のある企業連携を試みた。(第一段として、主に一年目は拠点となる空き家を改修し、拠点づくりを実施) また、今後は、この立ち上げ事業を皮切りに、さらに企業連携の拡大を図り、その結果、移住者の確保へと繋げていくことを目的とした。



【空き家整備の一場面】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①本事業内で、年間約50名(実数)の都会の若者を招聘することができた。また、次年度以降、参加者からの口コミにより、さらに多くの波及効果が期待できる。
- ②本事業を通して、うるぎファンを創出することができ、実際に参加者の中から、売木村と都会の2拠点生活を希望する声や、将来的な移住の可能性が見出された。
- ③本事業により、朽ち果て、10数年手付かずだった空き家が1件生まれ変わり蘇った。この拠点を活用し、さらに多くの若者や企業人を招聘することが可能となった。
- ④本事業を皮切りに、企業誘致(サテライトオフィス等)への可能性が生まれた。実際に、参加者の一人がIT企業を起業し、次年度本拠点を活用し合宿をしたいという希望がある。今後、さらに合宿や企業誘致、雇用創出の可能性が見込まれる。

- ①空き家を改修し、都会の若者が今後村で活動できる拠点づくりの実施。
- ②①と並行して村の魅力を実感できる体験を実施し、うるぎファンを創出する。
- ③村の大工さんに講師をお願いしたり、その他体験や集落の行事等、地域住民との交流を積極的に実施する。
- ④本事業をモデル的な取組とし、全国へ発信する。また、事業を継続し将来独立事業化を目指し、移住定住や雇用創出へ繋げる。

※自己評価【B】

【理由】

目的、目標のとおり、成果を得ることができ、次年度以降の展開も見えてきたが、当初想定できなかった作業や工程が発生したことにより、実施できなかった項目が発生してしまった。

今後の取り組み

次年度から、本事業により構築した拠点をベースに、さらに活動を広げ、空き家周辺の整備を進め、環境循環型のモデル的な取り組みの実施や、耕作放棄地の再耕、景観・遊歩道整備等へ展開していく継続的な連携を実施していく。また、この取り組みを、継続し全国へ発信していくことで、より多くの人を巻き込み、移住定住、さらには雇用創出へと繋げていく。さらに多くの若者や企業人を巻き込み、将来的に、企業の誘致(サテライトオフィス等)や、雇用創出を目指した取り組みを実施する。

さらに、今まで以上に地域住民との交流、連携を図っていく。特に、本拠点のある長下地区の活性化を目指し、積極的に長下集落の村民を巻き込み体験等も年間を通して実施していく。